

個人投資家の皆さまへ

セイコーグループ株式会社

2025年10月 2日

東証プライム 8050

1. 会社概要
2. 成長戦略 – 第8次中期経営計画“SMILE145” –
3. SMILE145 財務KPI進捗 及び 2026年3月期業績予想

1. 会社概要
2. 成長戦略 – 第8次中期経営計画“SMILE145” –
3. SMILE145 財務KPI進捗 及び 2026年3月期業績予想



SEIKO

社名 : セイコーグループ株式会社

創業 : 1881 年 (144 周年)

資本金 : 100 億円

従業員数 : 11,367 名
(2025年3月31日現在連結)

売上高 : 3,047 億円
(2025年3月期連結)

本社所在地 : 東京都中央区銀座1丁目26番1号



服部 金太郎
(1860年-1934年)

「東洋の時計王」と呼ばれ、渋沢栄一とも親交があり、当時の産業・経済発展を支えた
(現東急グループや第一生命などの創業を支援)

1881(明治14) 服部時計店(輸入時計の小売・修理)創業

1892(明治25) 精工舎設立。掛時計の製造開始

1894(明治27) 銀座4丁目角地に時計塔付きの店舗

→「銀座の街を行く人々に正確な時刻をお知らせする」

1913(大正2) 国産初の腕時計発売

1923(大正12) 関東大震災で工場、店舗全て消失

→「震災で焼失した修理預かりの時計の代償に無償で新品を進呈」

1932(昭和7) 二代目時計塔竣工

→「関東大震災からの復興の象徴」



大震災で溶けた時計



1932 服部時計店

時計事業を通じ「時」をより正確により広く知らせることで公益を図り、
社会基盤の構築や文化の発展に貢献

常に時代の一步先を行く

その時々求められるソリューションを提供

掛時計の製造開始



国産初の腕時計
ローレル



ジュネーブ天文台コンクールで
機械式時計の上位独占



世界初のクォーツウオッチ
クォーツ アストロン



世界初の
スプリングドライブウオッチ



世界初のGPSソーラーウオッチ
セイコー アストロン



世界初の新機構搭載
Kodo(鼓動)



1881

1892

1894

1913

1968

1969

1975

1985

1999

2001

2012

2019

2022



初代時計塔
銀座4丁目角に店を移転し、
時計塔付きの店舗を構える



水晶振動子
酸化銀電池



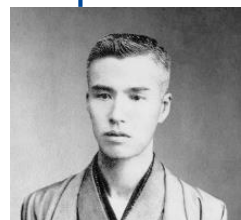
外食産業用
オーダーリングシステム



タイムスタンプサービス



AI型予兆予測サービス
LUiNa



服部時計店 創業
創業者 服部 金太郎

革新へのあくなき挑戦で、
人々と社会に信頼と感動をもたらし、
世界中が笑顔であふれる未来を創ります。



エモーショナルバリューソリューションドメイン

売上高: 1,990 億円

営業利益: 222 億円

18.5 %



デバイスソリューションドメイン

売上高: 600 億円

営業利益: 27 億円

16.6 %



システムソリューションドメイン

売上高: 528 億円

営業利益: 51 億円

※上記比率は、ドメイン別売上高構成比であり、
本比率は外部顧客への売上高をもとに算出

機能的価値・感性的価値・社会的価値の高い製品・サービスを創出するとともに、優れた顧客体験を提供するドメインです。

ウォッチ事業

-100年を超える腕時計づくりの伝統を継承し、
世界に向けて日本の美意識を発信する
ウォッチブランド



ウォッチ



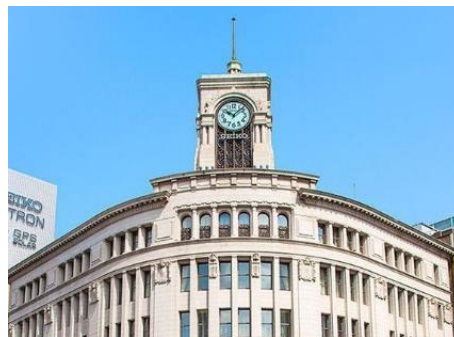
ムーブメント



クロック

和光事業

-東京・銀座のランドマークである高級専門店・
和光で、高い品質を誇る商品を幅広く取り揃え、
質の高いサービスを提供



銀座 和光



ASHOKA DIAMOND



MANACO

時計製造や開発から生まれた精密かつ確かな技術で、社会が求める高機能で高品質な製品を提供するドメインです。

事業区分:

■ 電子デバイス

マイクロ電池、チップキャパシタ、
水晶振動子、高機能金属製品、希土類磁石

■ 精密デバイス

自動車用部品、HDD用部品、
その他精密切削部品

■ プリンティングデバイス

インクジェットヘッド、サーマルプリンタ

■ その他

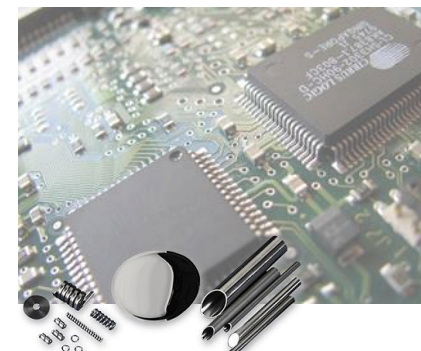
水晶発振器用IC、センサ用IC



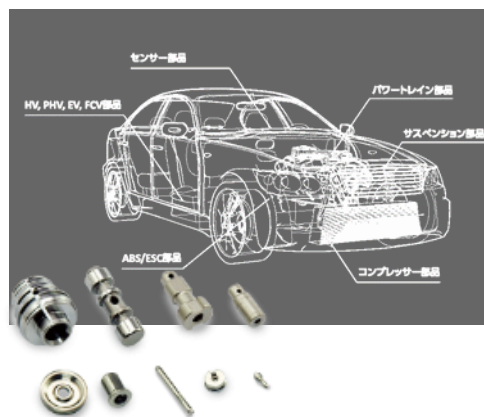
マイクロ電池



水晶振動子



高機能金属



自動車用部品



サーマルプリンター



インクジェットヘッド

コンサルテーションからシステム構築、運用管理まで社会のイノベーションをワンストップのICTソリューションで提供するドメインです。

事業区分:

■ システム関連

- DXプラットフォーム
(性能管理、セキュリティ、タイムスタンプ/電子契約、時刻同期)
- システムインテグレーション

■ IoT関連

- ハードウェア & ソフトウェアソリューション
(IoTプラットフォーム/機器・組込モジュール、
個人向け製品・サービス(モバイル通信機器等))

■ 決済関連

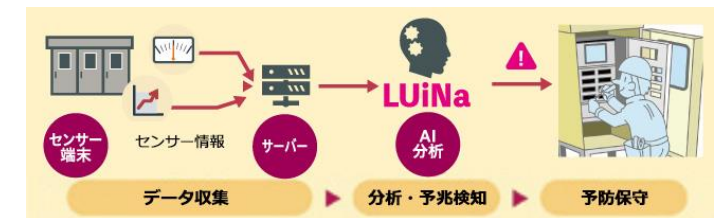
- 決済/オーダーリングサービス(CX/EX、外食DX、ホテルDX)

■ ファシリティ関連

- 大型表示盤/サイネージ



性能管理・セキュリティ



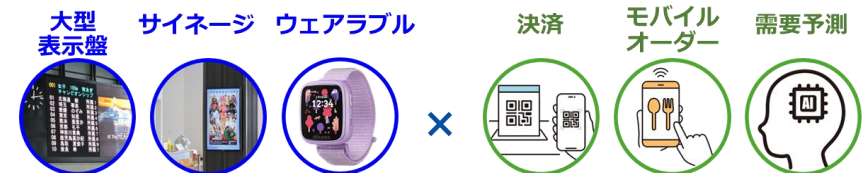
AI型予兆予測サービス



飲食店向けオーダーサービス

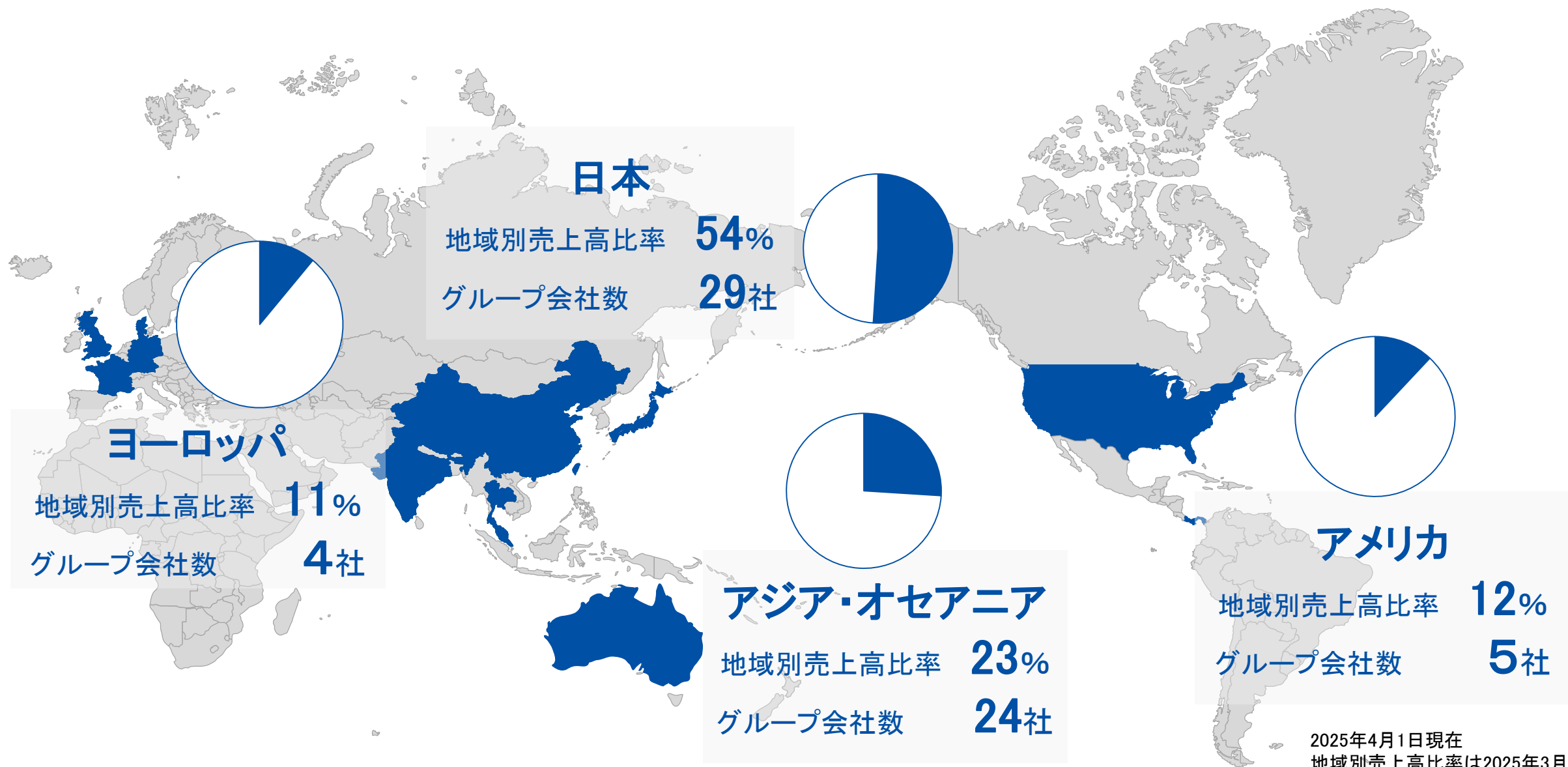


タイムスタンプ/電子契約

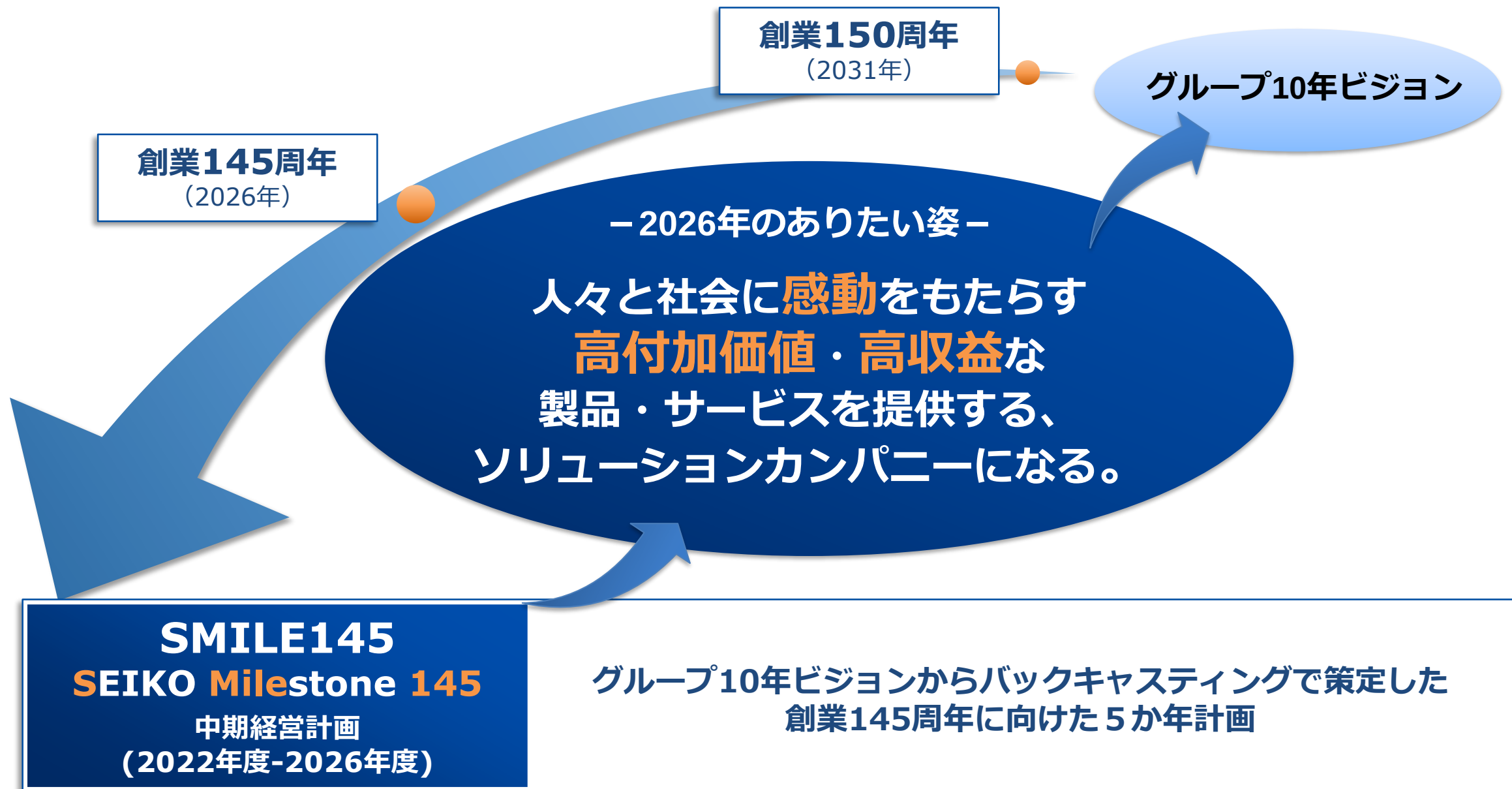


ハードとソフトを組み合わせたソリューション

世界各地に製造・販売拠点を置き、さらに、各国に広がる代理店ネットワークを通じてグローバルに事業を展開



1. 会社概要
2. 成長戦略 – 第8次中期経営計画“SMILE145” –
3. SMILE145 財務KPI進捗 及び 2026年3月期業績予想



2026年のありたい姿

人々と社会に**感動**をもたらす
高付加価値・高収益な
 製品・サービスを提供する、
ソリューションカンパニーになる。

MVP戦略

感動 Moving
 高付加価値 Valuable
 高収益 Profitable

- ◆ 価値創造に向けた社会課題への取り組み
- ◆ 収益性向上
- ◆ DXによるビジネスモデルの革新
- ◆ 両利きの経営
- ◆ 挑戦する文化

KPI (2026年度)

GP%	5%アップ
営業利益	250億円
ROIC/ROE	6.5%超 / 9%超
非財務指標	CO2排出量 42%減 (SCOPE1・2、22年度比) エンゲージメントスコア向上

成長戦略スキーム

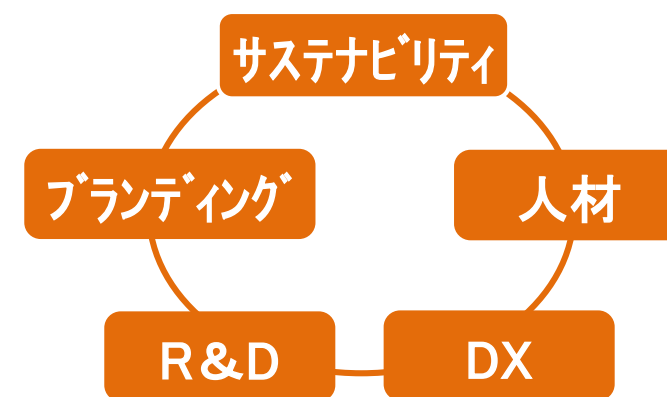
3つの戦略ドメイン



4つの事業機会



5つのグループコア戦略



※2024年5月15日の決算説明会にて開示

- ・「**ウオッチ事業**」と「**システムソリューション事業**」を、**グループ成長の中核**と捉え、更なる成長に向けて投資の強化を図る

- ・「**デバイスソリューション事業**」は、各製品の成長性を見極めバランスの取れた投資を実施する

- ・**セイコーフューチャークリエーション**を軸として、グループ全体のR&D戦略の強化と新しい技術の開発を推進し、これらの活動を通して、**グループ横断で新たな事業領域の創出**に取り組む

目指す姿

- ✓ お客様に感動をもたらす美意識や信念に満ち、
機能的価値・感性的価値・社会的価値の高い製品・サービスを創出
- ✓ 人生に寄り添い、悦びの時を共に歩める商品を、
優れた顧客体験を通じて販売することで、ブランド価値向上と企業価値向上を実現

MVP（感動・高付加価値・高収益）戦略

- ・ 感動を生む商品・サービスの提供／高付加価値の追求
- ・ CX(顧客体験)の進化
- ・ DXによるデータ活用の強化(CRM(顧客管理システム))

「SMILE145」後期3年間の方針

ウォッチ事業

- グランドセイコーを中心とした高級品ビジネスの拡大
- セイコーグローバルブランドによる中級品ビジネスの拡大

和光事業

- 富裕層向けビジネスの拡大と和光オリジナル商品の拡大による収益性向上

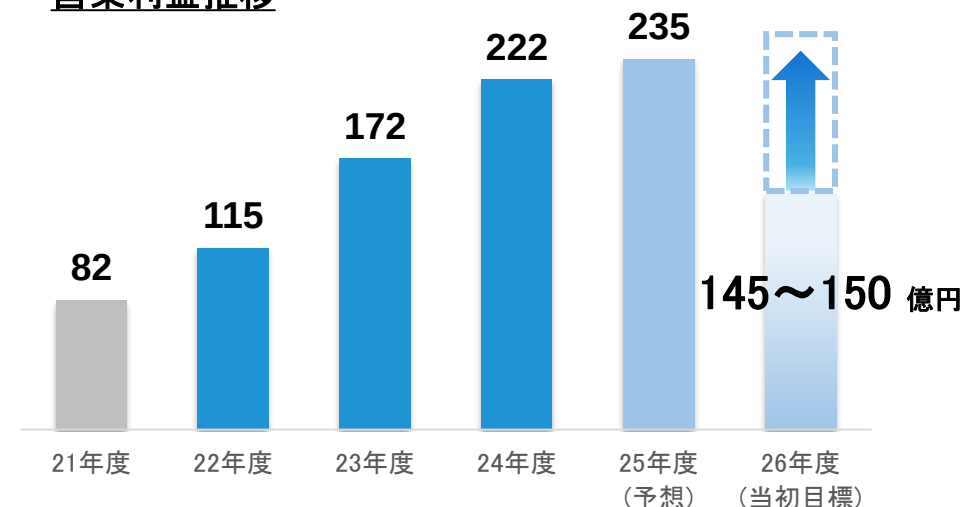
数値目標*1 (2026年度)

営業利益 145～150 億円
MVP比率*2 60 %

* 1. 中計策定時の当初目標値

* 2. 売上高に占めるラグジュアリー領域および感性的価値の高い製品の売上割合

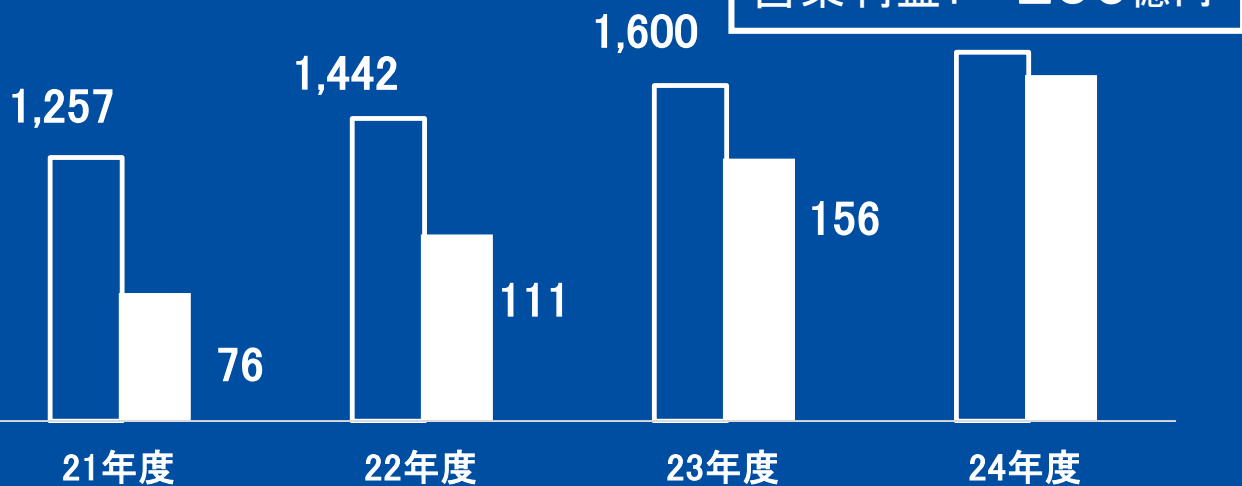
営業利益推移



ウオッチ事業

<業績推移>

□売上高 ■営業利益



<戦略>

グローバルブランド(GB)戦略

独自のストーリーを有し、お客様に「喜びや感動」を届けられる6つのプロダクトブランド(B)を、それぞれのシグネチャーストーリーに沿ったマーケティング活動によりグローバル(G)で展開する戦略

グローバルブランド



GS
Grand Seiko



KING SEIKO



PROSPEX



PRESAGE



ASTRON
GPS[®]
SOLAR



SEIKO

ウォッチ価格帯一覧

グローバルブランド

高価格



グランドセイコー



クレドール

500,000円



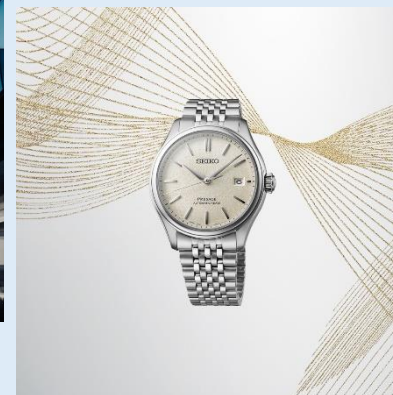
キングセイコー



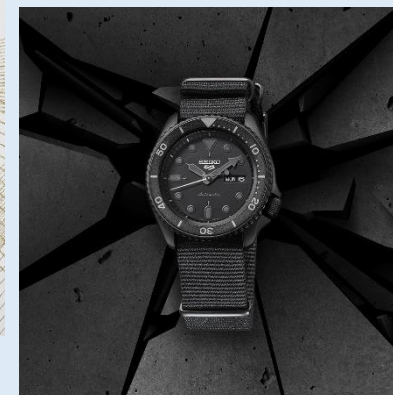
プロスペックス



アストロン



プレザージュ



セイコー 5スポーツ



ルキア

普及価格

50,000円

グランドセイコーの外部評価

“グランドセイコー”とは

スイス製の最高級腕時計に匹敵する、世界最高峰を目指し、セイコーの時計製造技術の粋を集めた時計として1960年に登場。



reddot winner 2022
best of the best

レッドドット・デザイン賞
の最高賞
「Best of the Best」受賞

年差±20秒の高精度を実現、
スプリングドライブ U.F.A. を発表



独立ブランド化

ジュネーブ時計グランプリ
「メンズウォッチ賞」受賞

Watches and Wonders
Geneva 2024 出展

Watches and Wonders
Geneva 2025 出展

2014

2017

2021

2022

2023

2024

2025

ジュネーブ時計グランプリ
「小さな針賞」受賞

Watches and Wonders
Geneva 2022 出展

ジュネーブ時計グ
ランプリ
「クロノメトリー賞」
受賞

Watches and Wonders
Geneva 2023 出展

レッドドット・デザイン賞
の最高賞
「Best of the Best」受賞



reddot winner 2025
best of the best



グランドセイコーのCMを
ご覧ください。

- 2020年7月オープン(年間の訪問者約3千名)
- 設計は隈研吾氏
- ブランドフィロソフィー「The Nature of Time」を具現化
- 精密機械の製造現場としては異例「木造クリーンルーム」



流通：グランドセイコー 主要ブティック グローバルマップ

SEIKO

2025年6月時点



セイコーグローバルブランド



<キングセイコー>

2022年に約50年ぶりに復活した、国産機械式腕時計としての新たな魅力を放ち続ける、ハイエンドメカニカルウォッチブランドです。

<プロスペックス>

ダイビングやトレッキングなど、スポーツ、アウトドアシーンに対応する本格機能を備えたブランドです。



セイコーグローバルブランド

<プレザージュ>



Seiko Presage
Classic Series

100年を超える腕時計づくりの伝統を継承し、世界に向けて日本の美意識を発信するウオッチブランドです。

<アストロン>



ストーリー性のある洗練されたスタイリングと、進化を止めない唯一無二の機能性を共存させた、セイコーの先進性を象徴するブランドです。

<セイコー 5スポーツ>



多様な価値観が飛び交う現代を象徴する“5つのスタイル”をデザインコンセプトとしたカジュアルウオッチブランドです。

キングセイコー、アストロンのCMを
ご覧ください。

日本の美意識と匠の技により生み出される日本発のドレスウォッチブランド

世界に通用するオリジナリティ

「日本ならではの美意識」「時代、文化を超える普遍性」

「調和の取れたプロポーション」「細部まで配慮が行き届いた精緻さ」

The Creativity of Artisans

匠たちの探求と豊かなる創造



「時計愛好家」へ発信

セイコーウォッチ カスタマーサービス

お客様の大切な思い出の腕時計をお預かりし、その状態を見極め、最適なサービスをご提案する「思い出の時を蘇らせる相談窓口」として、修理受付窓口にとどまらず、お客様に長期にわたってご満足いただけるサービスを提供



住所: 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビル1階

カスタマーサービス詳細については
セイコーウォッチHPをご覧ください ⇒



グランドセイコーのアフターサービス



コンプリートサービス

オーバーホールとセットで、ライトポリッシュを実施。ライトポリッシュでは、ケース、メタルバンドの表面を整え、つやを出します。細かな傷が目立たなくなり、光沢感を取り戻します。

外装リペアポリッシュサービス

深い打痕や傷がついた外装を修復(レストア)。髪の毛ほど細かいステンレスなどの線材を添えて1000℃近くのパルスレーザーで溶接し、傷を穴埋めしたあと、ザラツ研磨とバフ研磨によって新品に近い状態へ復元します。



目指す姿

- ✓ デジタル／グリーンエコノミーの機会を活用し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指す
- ✓ 「匠・小・省」の進化による技術革新を通じて、高機能・高品質のデバイスソリューションを提供

MVP(感動・高付加価値・高収益)戦略

- ・ デジタルエコノミーにおける成長市場(車載・医療・産業)への積極展開
- ・ 小型、低消費電力、長寿命の技術を活かしたグリーンエコノミー市場への拡販
- ・ ウェルネス、社会／環境分野の製品開発の加速

「SMILE145」後期3年間の方針

- 各製品の成長性を見極め、バランスの取れた投資を実施
- 成長力のある医療用電池や小型化に強みを持つ
水晶振動子のシェア拡大
- 業界トップクラスの高度な技術を有するエンコーダ
(位置や移動距離を検出するセンサ)のビジネスの成長

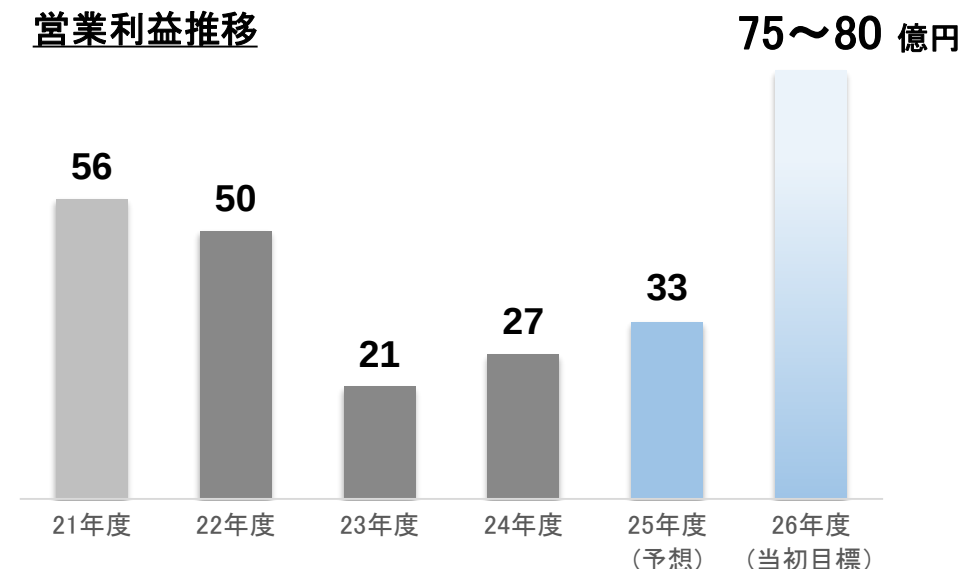
数値目標*1 (2026年度)

営業利益 75～80 億円
MVP比率*2 60 %

* 1. 中計策定時の当初目標値

* 2. 売上高に占めるデジタルエコノミーおよびグリーンエコノミー市場向けの売上割合

営業利益推移



グローバルの糖尿病患者数は急増しており、血糖値の持続測定を行うCGM(Continuous Glucose Monitoring、持続血糖測定器)の需要も将来にわたって大幅な増加が見込まれている

- ▶ CGM向け酸化銀電池を最重要ビジネスと位置づけ
- ▶ 当社製品の「薄型・高出力」という強みを活かし、さらなる事業拡大を目指す



CGM使用イメージ

世界糖尿病デーで発表された2022年の世界の糖尿病患者数

8億2800万人(10人に1人) ⇒ 30年で4倍に拡大

CGM市場規模予測



引用元: Business Research INSIGHTS

目指す姿

- ✓ 社員一人ひとりの成長の実現
- ✓ 長期的・継続的な増収増益の実現
- ✓ Society 5.0社会の実現

MVP(感動・高付加価値・高収益)戦略

- ・ストックビジネスの強化
- ・M&A、アライアンスによる多角化の推進

「SMILE145」後期3年間の方針

セイコーの強みを活かしたソリューションを通じて、事業の成長を図る

- 社会課題を解決するハードウェアとソフトウェアを融合したIoT・AIソリューション
- お客さま企業のDX実現を支えるプラットフォーム系ソリューション

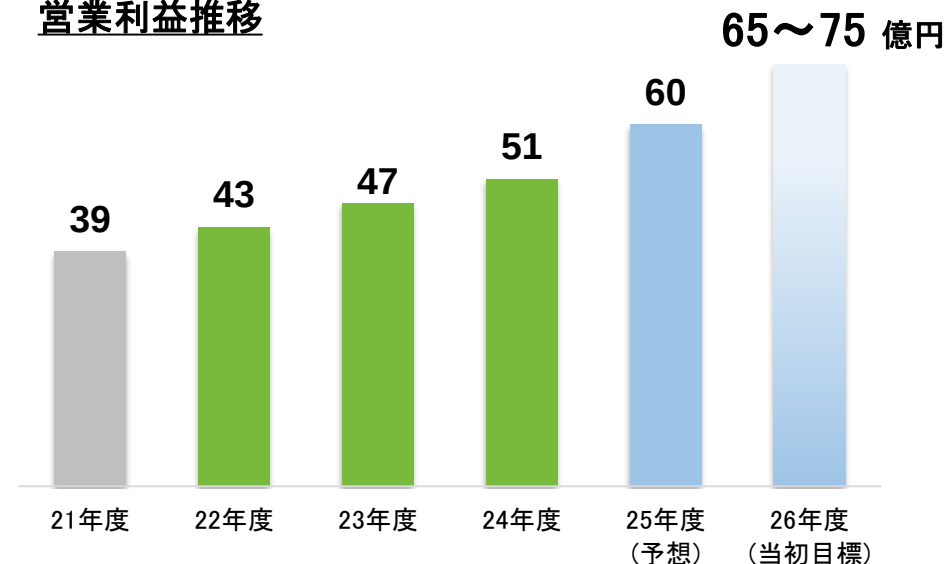
数値目標*1 (2026年度)

営業利益
MVP比率*2 65～70 億円
73 %

* 1. 中計策定時の当初目標値

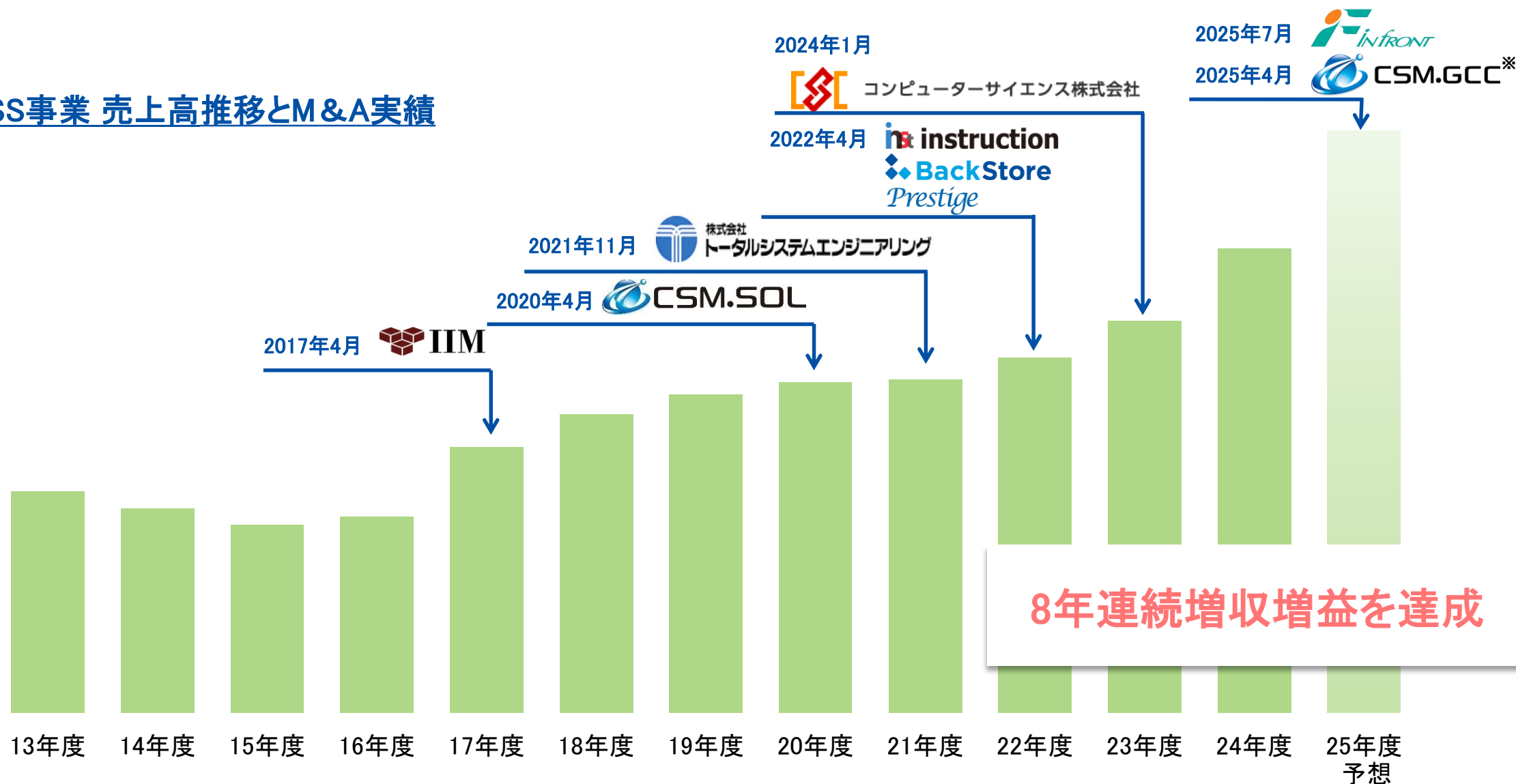
* 2. 限界利益に占めるストックビジネスの割合

営業利益推移

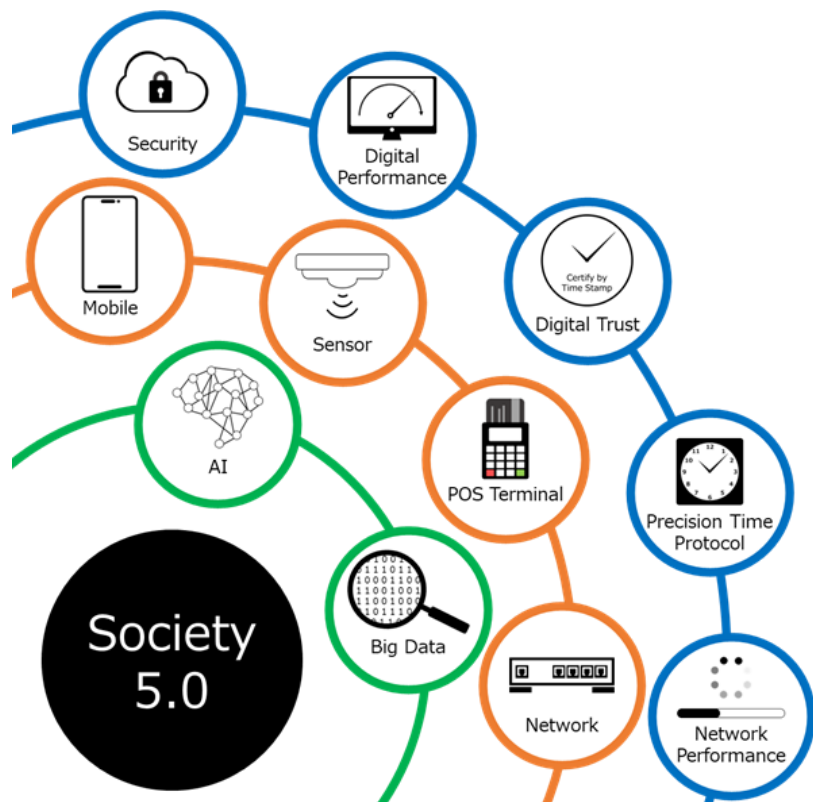


多角化推進施策として積極的にM&Aを実施。2017年以降9社を迎え入れ、確実な成長を実現

SS事業 売上高推移とM&A実績



ハードウェアからソフトウェア、クラウド基盤、
AI、センサーなど、構築から運用まで、
すべてをワンストップで提供



事例

社用車管理を驚くほど楽に、トータル車両管理システム

トータル車両管理ソリューション「Mobility+」では、一般的な車両管理ソリューション基本機能に加え、アルコールインターロックとデジタルキーも搭載し、車両管理業務の効率化と安全運転推進を実現



セイコーのフリート向け
クラウド型車両管理システム モビリティプラス

日報自動作成

WEB車両予約

GPS位置情報

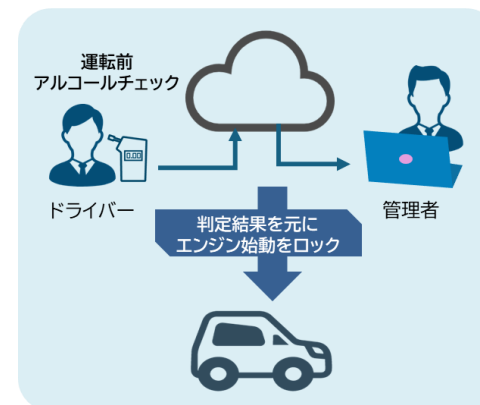
運転状況分析

アルコールインターロック

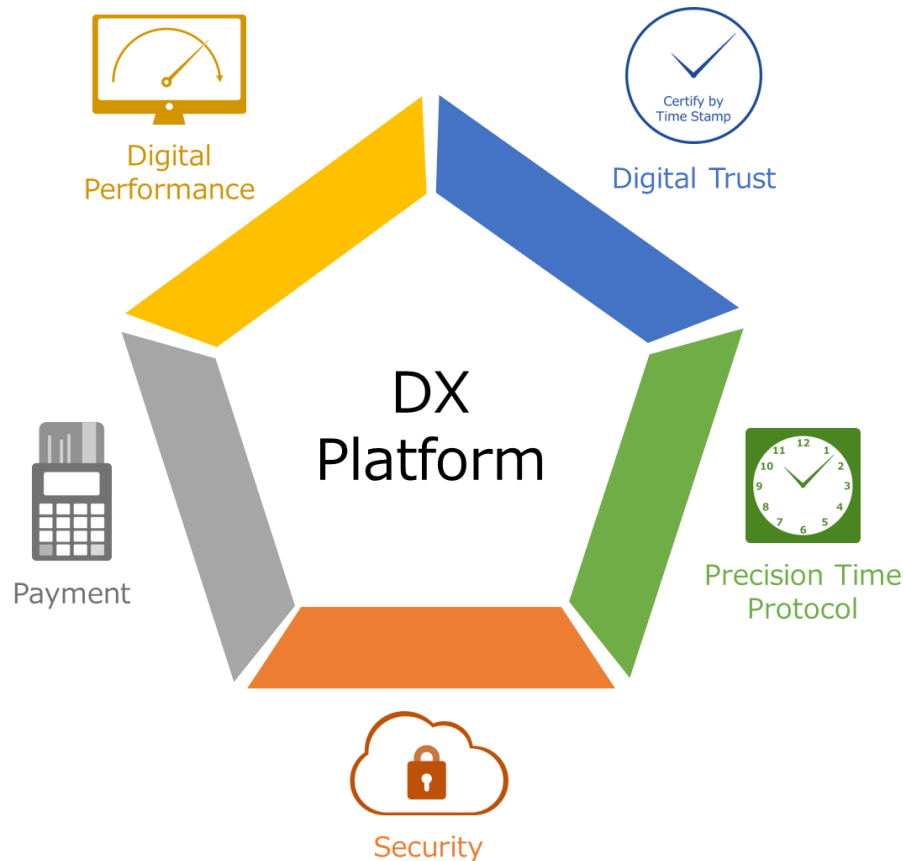
デジタルキー

アルコールチェック漏れを無くす

鍵の受け渡し不要に



デジタルトランスフォーメーションの基盤となる、
デジタルトラスト、性能管理、セキュリティ、
時刻同期、決済等のソリューションを提供

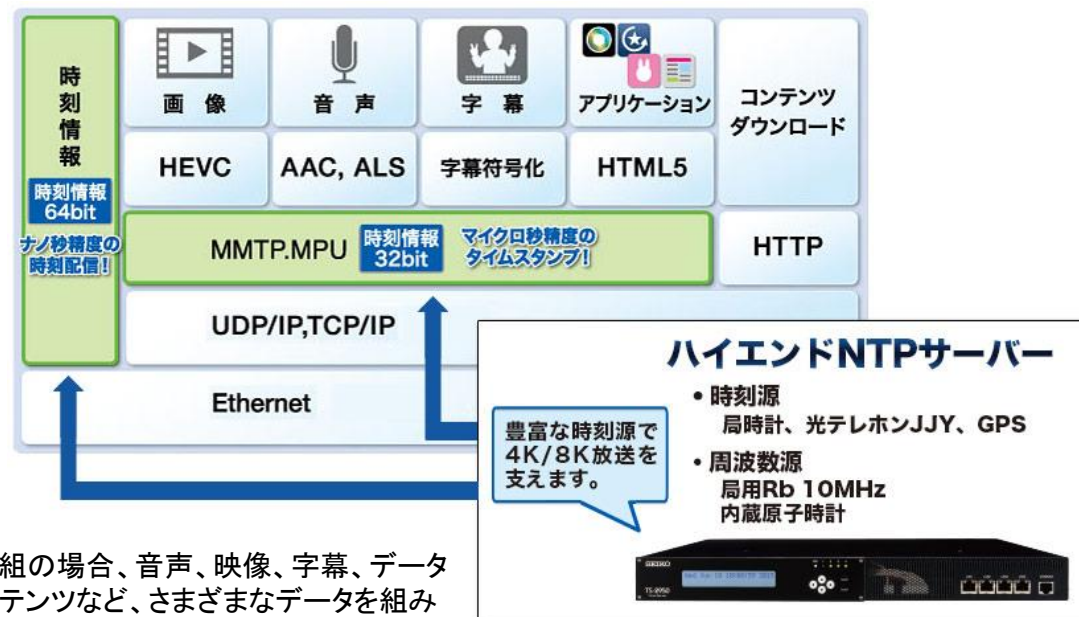


事例

10億分の1秒レベルでズレをなくす時刻同期システム

ネットワーク上のあらゆる機器に標準時刻を高精度に配信し、時刻をセキュアに同期するNTPサーバーを提供
金融や通信、放送、その他の社会インフラなど、各種システム運用における時刻同期のトラブルを解消

放送業界の事例



テレビ番組の場合、音声、映像、字幕、データ連動コンテンツなど、さまざまなデータを組み合わせることで放送します。もし、時刻同期がないと、これらのタイミングがずれて品質が低下し、最悪の場合、放送事故につながります。

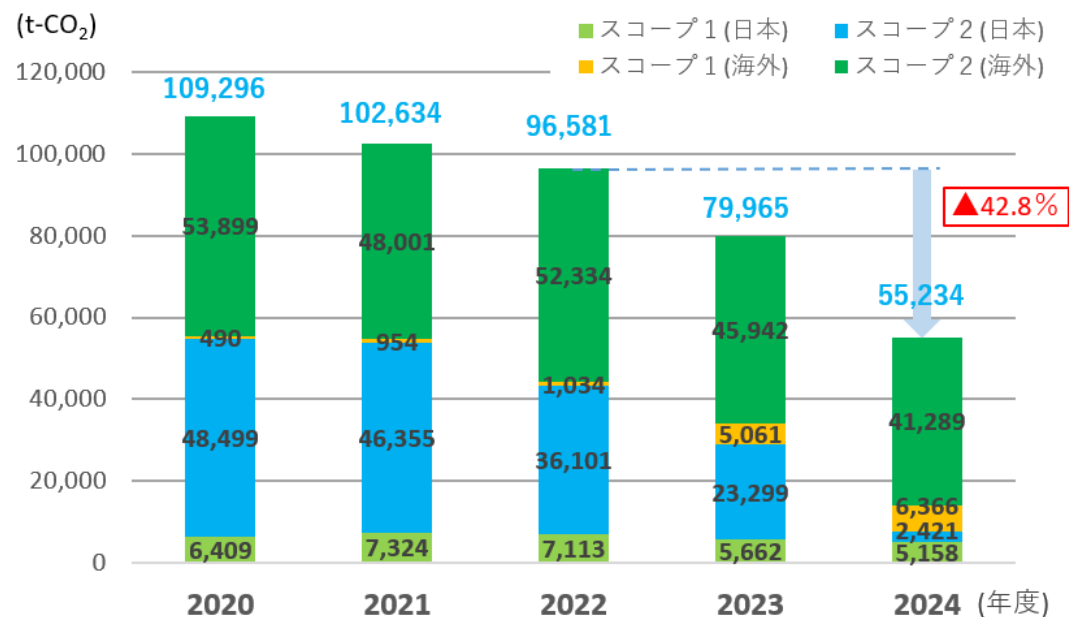
サステナビリティへの取組み

2025年3月に、セイコーグループ全体の国内全拠点における使用電力について、
実質100%再生可能エネルギー化を達成

温室効果ガス排出量削減の長期目標

2030年度：SCOPE1、2 2022年度比で42%削減（2020年度比で48.7%削減）
SCOPE3 2022年度比で25%削減 ※対象：カテゴリ1、11
2050年度：ネットゼロを目指す

Scope1, 2 温室効果ガス(GHG)排出量



〈2024年 SBT認定取得〉



[2024年12月より太陽光パネルを稼働したNPC那須塩原事業所]

わくわくトープ(盛岡セイコー工業内)

生物多様性を確保し、自然との共生を目指し
盛岡セイコー工業内にビオトープを設置



わくわくの森・わくわくトープが
2024年に環境省「自然共生サイト」
に認定

生きもの調査の様子 (左: インセクトホテルの観察、右: 水生昆虫の採集)



白樺林「平庭高原」での環境整備活動(岩手県久慈市)

地元のボランティア団体とともに草刈りやゴミ拾い、
植樹など白樺林の保全活動を実施

2024年は白樺の苗木370本と、レンゲツツジの苗木360本を植樹



photo by Naoya Ochiai



photo by Naoya Ochiai



photo by Naoya Ochiai

変化に強い組織となるために、多様な価値観と強みを持つ人材の活躍を推進します。

女性活躍支援

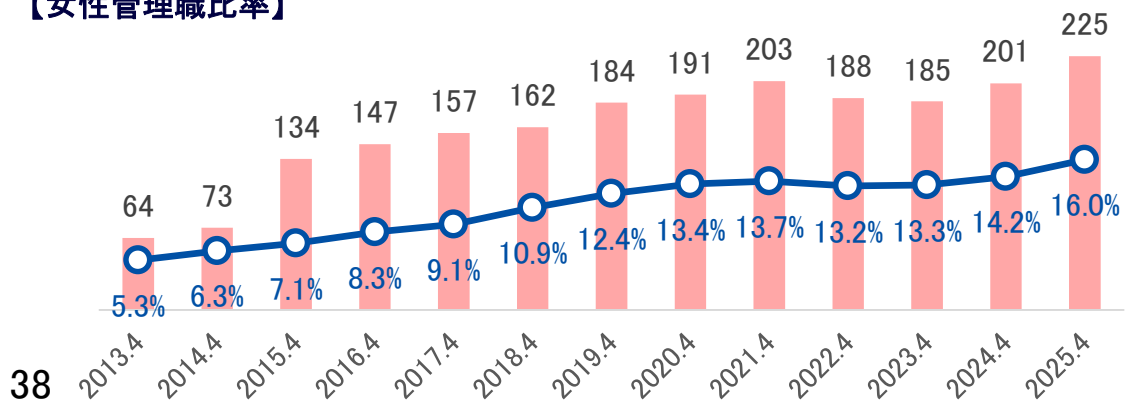
女性がそれぞれの能力を十分に発揮し、自らのキャリアの自己実現を図り、活躍することを支援

女性リーダー育成プログラム 「Seiko Woman Academy」

新任管理職や管理職手前の女性社員を対象に、リーダーシップスキルを学び、多様なロールモデルに触れることで、自分なりのリーダー像を描き、前向きにキャリアアップに取り組むマインドを醸成。



【女性管理職比率】



両立支援

社員がライフイベントと仕事を両立できる環境づくりを推進

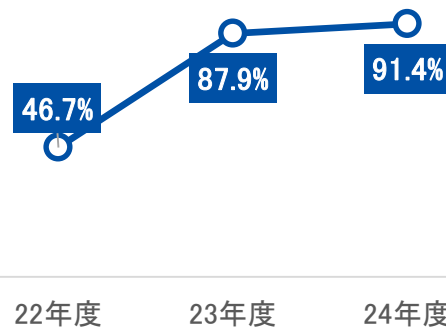
男性育休取得の推進

出生時育児休業(最大4週間)を100%有給で導入。育休を取得しやすい職場風土の醸成にも取り組んでいます。

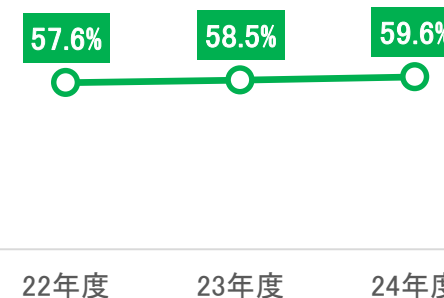
キャリア採用

当社グループでは、組織の変革とイノベーション創出を加速するため、キャリア採用を強化。

【男性育休取得率】



【キャリア採用率】



セイコーグループでは、サステナブルな社会のために、セイコーだからできる未来を担う世代の育成活動に取り組んでいます。子ども達の笑顔を世界中に広げるため、本物に触れるわくわくする体験を通して豊かな個性・人格形成を支援します。

時育®

ときいく
セイコー次世代育成活動



時・時計

時について考える
時間の大切さ



スポーツ

計測の重要性



音楽

リズムとテンポ
音楽＝時間芸術



環境

持続可能な豊かな森



協賛

特別プログラム



photo by Naoya Ochiai



photo by Naoya Ochiai



photo by Naoya Ochiai



©Naoya Ochiai



セイコーは 大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン
「いのちの遊び場 クラゲ館」に協賛しています。



「時育® わくわく日時計づくり教室」in大阪・関西万博を8月に開催



photo by Naoya Ochiai

ブランディング

セイコーハウス



2022年、セイコーグループは、セイコーの原点である銀座四丁目の和光本館の建物を「SEIKO HOUSE」と名付け、日本の匠の技術やものづくりの想いを未来に伝え、社会とともに歩むセイコーを発信していく場所と位置づけ、セイコーブランドの発信拠点として活用しています。

セイコーハウスの歴史

セイコーの前身である服部時計店は、1894年に銀座四丁目に進出し、創業者・服部金太郎の強い希望で時計塔を設置しました。その後、1932年に関東大震災からの復興の象徴として二代目時計塔が完成し、以来、銀座の街を行く人々に正確な時刻をお知らせする銀座のランドマークとして親しまれています。

屋上 セイコースカイガーデン

時計塔の鐘の音を聞きながら銀座の中心を体験できるおもてなしの場



7F アトリエ銀座

セイコーグループにおける、日本の美意識に根ざした「ものづくり」文化や匠の技を情報発信する場



6F セイコーハウスホール

銀座・和光の美術催事などに加え、グループ事業全般に関連する展示や、アーティストとの共創など、多目的な情報発信の場



5F ゲストラウンジ

竣工当時の社長室・会議室が残る5階は、特別な応接やプレゼンテーションに活用できるスペース



※5F、7F、屋上へのご入場は招待制となります。

THE GIFT OF TIME

“時の文化”と“ジャパン・ラグジュアリー”の魅力を世界に発信

当社グループは、これまで「グランドセイコー」「クレドール」「和光」に代表されるブランドを通じて、日本のラグジュアリー文化に貢献。2024年7月より新たに、日本の四季や自然が育む美意識、卓越した匠の技といった日本独自の文化が生み出す豊かさや価値を“時”という視点から再発見し、“ジャパン・ラグジュアリー”の魅力を世界に発信するプロジェクト「THE GIFT OF TIME」を展開。

ショートフィルム「THE GIFT OF TIME 一時と生きる」

日本文化を牽引する様々なトップクリエイターとともに、“時”という視点から日本独自のラグジュアリー文化を紐解く



「アーツアンドカルチャー」

和光本店の地階フロアを「アーツアンドカルチャー」としてリニューアルオープン。単なるお買いもの場ではなく、文化と人々の交流の場として唯一無二の体験を提供



ショートフィルム「THE GIFT OF TIME 一時と生きる」(ショートバージョン)を
ご覧ください。

THE GIFT OF TIME

時と生きる

フルバージョンは右のQRコードより
ご覧いただけます。



セイコーグループは、9月に開催された「東京2025世界陸上」で1987年ローマ大会以降、19大会連続でオフィシャルタイマーを担当しました。

短距離種目では、選手の動きをAIで追跡し、ラップタイムやスピードなどのパフォーマンスデータをリアルタイムで計測・表示する最新技術と新機材を導入、ブランドコンセプト「A TRUE MOMENT」を体験できるイベントも展開しました。挑戦の歴史と技術の結晶を東京から世界へ発信し、アスリートとともに、数字だけでは語り切れない“瞬間の価値”を支えました。



SEIKO
OFFICIAL TIMER



異例の写真判定となった男子マラソンのゴールシーン。わずか0.03秒の差を当社のスリットビデオにより計測。

1. 会社概要
2. 成長戦略 – 第8次中期経営計画“SMILE145” –
3. **SMILE145 財務KPI進捗 及び 2026年3月期業績予想**

	7次中計	SMILE145					今回の修正点
	最終年度 21年度 実績	3年目 24年度 実績	4年目 25年度 業績予想	最終年度 2026年度			
				当初 (2022/5)	前回修正 (2024/5)	今回修正 (2025/5)	
営業利益(億円)	87	212	225	180～200	200	250	2025年度予想225億円を踏まえ、 2026年度を250億円に修正
売上総利益率(%)	41.8%	45.0%	46.0%	46.8%	46.8%	46.8%	
ROIC(%)	3.5%	6.0%	—	6.5%超	6.5%超	6.5%超	
ROE(%)	5.5%	8.7%	—	—	8.0%超	9.0%超	営業利益増に連動し1ptアップ 中長期的には10%超を視野
配当性向(%)	32.1%	30.7%	31.0%	—	30%以上	30%以上	

売上高は前期比92億円増(3.0%up)、営業利益は22億円増(10.6%up)の増収増益を計画

(億円)	25/3期 実績	26/3期 予想 (8/8発表)	対前期 増減
売上高	3,047	3,140	+92
営業利益	212	235	+22
%	7.0%	7.5%	+0.5pt
経常利益	207	235	+27
%	6.8%	7.5%	+0.7pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	133	155	+21
%	4.4%	4.9%	+0.5pt

■ 為替レート・為替感応度(7~3月)

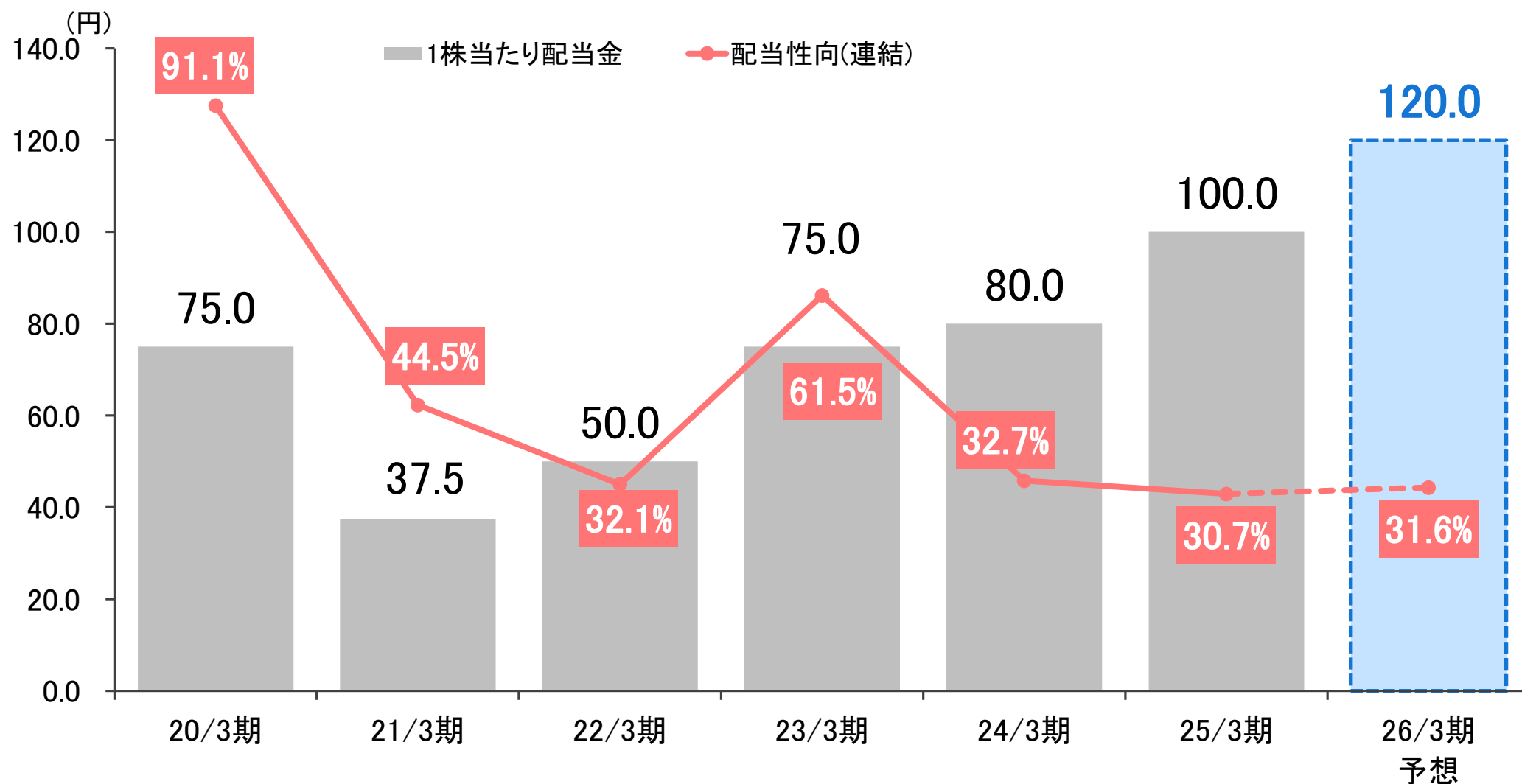
感応度	USD	EUR
見込レート	140.0円	160.0円
売上高	約2.7億円	約1.8億円
営業利益	約0.9億円	約0.6億円

2026年3月期 業績予想(セグメント別売上高・営業利益)

SEIKO

(億円)		売上高			営業利益		
		25/3期 実績	26/3期 予想 (8/8発表)	対前期 増減	25/3期 実績	26/3期 予想 (8/8発表)	対前期 増減
イモーションナル バリュー ソリューション	ウオッチ事業	1,759	1,840	+80	206	220	+13
	その他・調整	230	160	△70	15	15	△0
	計	1,990	2,000	+9	222	235	+12
デバイスソリューション		600	625	+24	27	33	+5
システムソリューション		528	575	+46	51	60	+8
計		3,119	3,200	+80	301	328	+26
その他		34	45	+10	2	2	△0
調整額		△106	△105	+1	△91	△95	△3
連結計		3,047	3,140	+92	212	235	+22

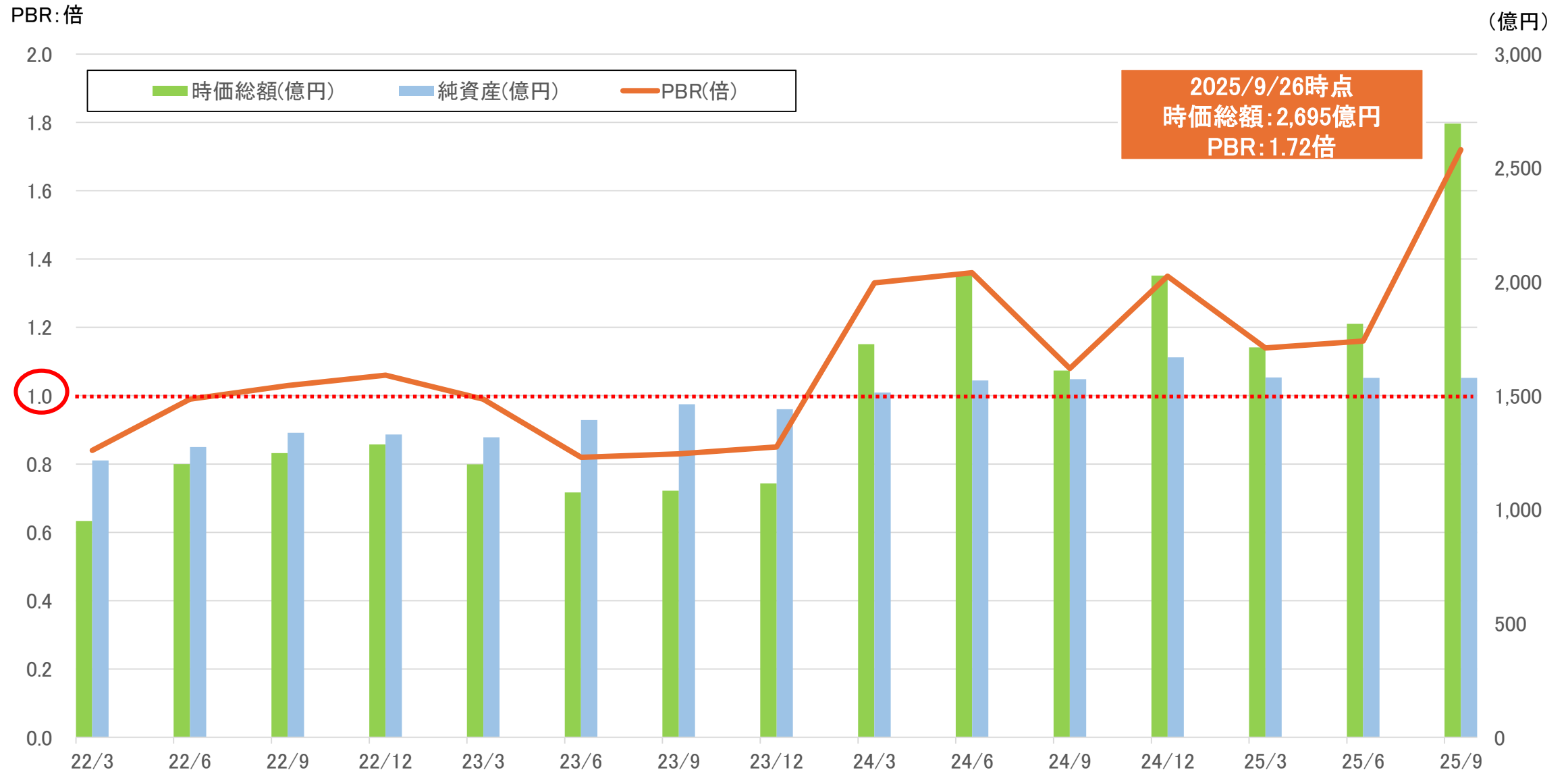
利益配分につきましては、経営基盤強化のための内部留保の充実と、株主への安定的な利益配分を重視することを基本方針としています。また、当社は株主への主要な利益還元施策を配当による還元とし、連結配当性向30%以上としています。



セイコー株価(円)

日経平均株価(円)





将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

数値の表示について

本資料では特に注意書きがない場合、下記の通り表示しています。

金額：表示単位未満の端数を切り捨て

比率：表示単位未満の端数を四捨五入

その他

2023年3月期より報告セグメントを変更しており、2022年3月期以前の実績は変更後の開示セグメントに組み替えて表示しております。

SEIKO

セイコーグループ(株) IRサイト

<https://www.seiko.co.jp/ir/>



セイコーグループ(株) 統合報告書

https://www.seiko.co.jp/ir/library/value_report.html

